

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
1	牧の原小学校学校の生徒数増加について	子どもが3年後に入学を控えており、1学年300人近くになるのではと思っています。 子どもが生まれたときに八街市の飲酒運転事故があったので、安全に学校に通わせられるようにと、地域選びをしました。 安全に通えたとして、この人数で校内でのびのびと過ごせるのかと懸念しています。 原小だけでなく、牧の原小学校にも分校作ってほしいです。	牧の原小学校学校はこれから1,200人まで生徒が増えるのではないかとわれています。やっぱり適正な規模というのはあると思います。現在原小学校の分離新設を進めていますが、その際に学区の見直しも図ってのではないかなと思っています。 東の原地区を新設校の対象地区で考えていますが、牧の原地区でも、新設校に近い子ども達の学区については、選択制として良いのかなと思っています。 宗甫の子ども達については、道一本挟んで目の前に学校があっても入れないという。牧の原小学校は、受け入れの余力がないと思うので、その子たちについても例えば新しい学校に通えるようにするのであるとか、その辺は学区全体の状況と、あとはなるべく子供たちに負担をかけないような中で、うまく弾力的に運用していくしかないのかなと思っていますところす。	—	学務課
2	牧の原小学校学校の生徒数増加について	トラブルがあったときに、先生方の目が届かないと言われたと聞きました。 また、1学年7クラスで、全てのクラスを同じフロアに配置するのが難しく、離れた位置にいるクラスは交流がしづらいと聞きました。 このままでは中学校も大丈夫かなという不安があります。		—	指導課
3	牧の原小学校学校の生徒数増加について	登校時の混雑が嫌で、門が開くまで校門の前で待っている児童がいます。気になって聞いてみたら、その方がその子たちのには楽しんだと話していました。		—	指導課
4	牧の原小学校学校の生徒数増加について	原小学校は新設校を考えているとのことなのですが、新設校設立後は、牧の原小学校学校のキャパシティはどのくらいになるのでしょうか。 牧の原小学校学校の大きさを賄えているのか、と懸念しています。	校舎自体は1,200人という上限値を受けられるところを想定しながら増築を進めています。さらに言うと原小学校の場合は1,700人近い児童数になるとわれています。今年の4月から増築した分が使えるようになるんですけれども、そこも入れると数としては賄えるようになります。 ただ、やはり学校の適正規模はあると思います。 例えば、大人数のところに馴染めない子もいるのではないか、管理職の目が届くのか。また、運動会などのイベントを開けるのかなど、適正な規模があるのではないかというのは、文部科学省からも言われているところもありますので、新しい学校を作るということで、今動いています。 牧の原小学校についても1,200人という数字がありますが、そこまではいかないような学区編成ということも考えていこうかなと思っていますところす。 今回の一番の対象は原小学校区になりますが、牧の原小学校、また滝野小学校ですね。滝野は生徒数は800人ですが、校舎が足りていない状況です。特に印西牧の原駅よりのエリアについては、学区について少し考えていかないといけないかなというところで、いろいろと動いているところす。	—	学務課
5	新設校について	牧の原地区でも新設校を造ることはできますか。	場所がなかなかありません。民間の土地ということで、相手もあることなので、なかなか難しいところがあります。	—	学務課
6	新設校について	空地に学校を造ることはできないのでしょうか。	空き地多いですけれども、牧の原地区のデータセンター群も今後の予定についてはすでに決まっているはずです。 ゾーニングという考え方があって、要は人が住んでいる周りに必要な建物とか機能施設をどこに置くかということを都市計画で決めるのですが、印西市の場合、土地が余っていたので、引き受けてもらうために少し緩い部分があります。駅前であってもデータセンターを建てられてしまうんですよ。 それは少し規制をかけようと思いついています。	—	学務課

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
7	新設校について	新設校を選択制にしたとしても、牧の原地区から通う人は少ない気がします。	通学距離でいうと牧の原小学校とそれほど変わらない距離で、通える方々はけっこういる場所ではあると思います。 また、橋を渡らなくても済むように、できるだけ駅前の道を通ってもらう想定をしています。	—	学務課
8	新設校について	選択制という話がありましたが、牧の原小学校に通う児童が、原山小学校を選択することもできるのでしょうか。	できません。選択制というのは、牧の原小学校と新設校での選択制です。今考えているのは、エリアごとで大規模な学校からその隣の学校などに行けるようにするということと、小規模特認校を増やしたいということです。母校の六合小学校のような自然に囲まれた中で最先端のテクノロジーを掛け合わせるなど、可能性を広げていけたらと考えています。 なるべく早く船穂小学校みたいな小規模特認校の選択肢を増やしたいと思っています。	—	学務課
9	新設校について	原小学校の新設校開設は何年後の話ですか。	令和11年4月を予定しています。 時間を要するので、過大規模校といわれている牧の原、原、小倉台小学校については、会計年度やパートタイムの先生方を多めに配置したいと考えています。 流山市も同じ問題を抱えており、かなり手厚くサポートの先生を配置されているといったお話を聞きますので、そういったところを参考にして、学習環境についても改善を図りながら新設校の整備を進めていかなければいけないと思っています。	—	学務課
10	小規模特認校について	小規模特認校については賛成ですが、行き方が不安です。船穂小学校までのバスがいっぱいで、来年度は抽選だと聞きました。	今原学区から高花・いには野小学校に通っている子ども達にはバスを出しています。現在は1便で、足りなかったら抽選のような話があったので、一便増やしました。しかし、それでもいには野小学校は限界を迎えそうで、受け入れ自体はおそらく来年度が新規の受け入れは最後になるだろうということになっています。 船穂小学校には、今スクールバスは通っていません。保護者の方々が送り迎えをされています。船穂小学校には、千葉ニュータウンからふれあいバスが通っているんですけど、朝と夕方、子供たちが通う時間帯にバスに乗れるように調整をしています。 将来的に学区外通学の選択肢を増やしていくとなると、当然ながら通学の便の問題が上がってくると思いますので、対策を考えていく必要があると思っています。	令和8年度より、いには野小学校の受け入れは不可となります。 例外として、弟妹関係は受け入れます。	学務課
11	私立中学について	最近は私立の中学校に通う子が増えてきています。1クラス5～6人くらいの子が受験すると聞いていますが。	これは歴史的な経緯があり、どうしても昔から栄えているところにそういう学校が多いです。少子高齢化なので、新しい学校を造るのはかなりハードルが高いです。 突破口がないか探していますが、政治的にもかなり難しい話ではあるので、まずは公立の学校の質を上げていくということが一番だと考えています。	—	企画政策課
12	中高一貫校について	いっそのこと中高一貫の私立高を作ってほしいです。エスカレーター式で大学受験だけで済むので。		—	学務課

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
13	中学校の生徒数増加について	今は牧の原3丁目までは西の原中学校、4丁目からは滝野中なのでバラバラになってしまっています。牧の原中を作ってほしいです。	西の原中学校については、令和9年、新設校を作る前段階で教室が足りなくなるので、現在40億円くらいかけて増設を図っています。1600人をしっかりと吸収できるような校舎を今準備していますが、不安が大きいので分けてほしいという声はたくさん聞いてはいます。 新設校の子ども達にそのまま中学校に上がってもらおうとすると、複数の小学校から構成される中学校と比べて規模が小さくなってしまいます。そうすると学校の運営自体をやっていただける先生の数が減らされてしまいます。 むしろ一定規模を持っておいた方が中学校の場合にはメリットが大きいということがあったり、諸々の中で、現状は中学校については増設でいこうかという話をしています。	—	学務課
14	データセンターについて	データセンターが乱立していますが、固定資産税による恩恵はあるのでしょうか。	医療費の助成や、学校給食の無償化も実はデータセンターの固定資産税による恩恵が大きいですが、あまりそのことを市民の方にお伝えできていないというのは、この市の課題だと感じています。	—	経済振興課 企画政策課
15	商業施設の誘致について	データセンターしかないと感じています。 牧の原地区は人口が増えているにもかかわらず、病院しかなくて、商店も保育園もコンビニもない。 個人商店などがあれば、もう少し交流できたり、活性化したりするのではないのでしょうか。 コンビニやパン屋さん、ケーキ屋さんなどを誘致してほしいです。	—	魅力ある個人商店の出店は、地元住民のみならず市外からの来訪者も呼び込むことができるため、地域に賑わいをもたらし、地域経済やコミュニティの活性化など、市全体の経済に多方面で良い影響を与えているものと考えています。 市としましても、地域の特性や都市環境を活かし、魅力的な商業施設等の立地が促進されるよう、引き続き努めていきます。	経済振興課
16	学童保育の受け入れについて	小学校入学のタイミングで学童に入れず、フルタイムからパートタイムにしたことで家計が圧迫されたという話を聞きました。	学童の問題は持ち帰って確認します。来年度に向けては2年生までは入れるようになっています。 3年生が入れないということで、原小学校の目の前に新しい学童ができたり、滝野小学校の図書室を学童にしたりして対応しています。牧の原小学校についても同様な取り組みができないか、保育課と調整を図っているところです。 今年も200人ぐらい定員を増やしていますが、イタチごっこになってしまっているので、ここはもう一回精査した上で、受け入れの数を増やしていきたいと考えています。 また、学童に通いながら習い事ができるアフタースクールという制度があります。そうすると体験格差の是正とご両親の送迎の負担がなくなります。現在学童は指定管理者の運営ですが、これが切り替わるタイミングでアフタースクールに順次切り替えていけないかなということを模索しているところです。	—	保育課

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
17	バスのルートについて	牧の原小学校と、病院と、できれば滝野まで行くバスがほしいです。 市役所行くのに50分かかってしまいます。 また、京成本線に行くバスはないのでしょうか。	あることはあります。 まず、病院を経由するバスは今ふれあいバスも新設を考えてます。循環バスでニュータウン圏にある各病院を回るとか、印西牧の原駅ということは今計画はしています。 京成本線行きのバスについては、現在日医大から京成佐倉までのバスが出ていますが、経営的に難しい部分があります。私の自宅付近を走っていて、通学の高校生が利用していますが、日中はほぼ誰も使っていないんですね。バス停まで距離があるので高齢者が利用するにはハードルが高いんです。 高校に通う子供たちの選択肢を狭めないと意味で、問題意識としては持っていますが、そこは調査をさせてください。	—	交通政策課
18	保育園の利用認定について	3番目の子で育休が3年取れるのに、上の子は1年経ったら出なきゃいけないという制約があると思うのですが、鎌ヶ谷市ではその制度がなくなったそうです。	持ち帰って確認します。	現在、育児介護休業法における育児休業期間や限られた定員の中で、保育重要に応じるため、育児休業の認定が1歳の誕生日の属する年度の末日に設定しています。 なお、上記の見直しについては、保育需要の動向や受入体制への影響などを考慮し、検討していく必要があると認識しています。	保育課
19	療育施設の受け入れ人数について	印西市の療育が足りません。現在市外の療育施設に通わせていますが、そこには印西市民の方が他にも大勢いらっしゃいます。 療育は早いうちに通わせた方が良いと言われるのに、通わせる場所がないです。やっと入れたと思っても、小学校に入学するまでの期間なので、期間が短かすぎて効果が分からないまま終わってしまうこともすごく残念です。	—	今後の施設運営やサービスの充実を図る上での貴重なご意見として検討させていただきます。 引き続き、皆様にとって利用しやすい環境づくりに努めていきます。	子ども家庭課
20	親子の居場所作りについて	支援センターのような施設がたくさんあるのもありがたいことですが、そういった場所で話せるようになったお母さんたちとお茶ができる、息抜きができる場所がありません。	—	地域のこどもたちが安心・安全に過ごせる居場所の必要性は認識しています。 今後の施設整備や地域の子育て支援のあり方を検討する上で、いただいたご意見を参考にさせていただきます。	子育て支援課
21	子育て支援センターについて	このあたりに小学生が行ける支援センターがありません。	—		子育て支援課

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
22	全天候型施設の設立について	遊戯施設、支援センターを山形県を参考に、新しく作りたいとマニフェストに書かれていたと思います。実際に山形県には、体育館やエアドームが整備されているような施設が完全無料であります。そんな施設を作っていただければ、小学生になっても通えると思います。 今の印西市の支援センターのような相談しやすい雰囲気も残した建物にしてほしいし、障害児の方が来やすい雰囲気にしてほしい。 子どもには、障がいのあるお子さんとの触れ合いも経験してほしいと考えています。児童発達の施設ではなく、みんなが交流できるような施設があってほしいし、小学校に上がってからもそういう教育があったらいいなと思っています。	検討施設でいいますと、全天候型施設を牧の原と千葉ニュータウン駅圏に、それぞれどうにか整備できないかなということは、考えているところです。なるべくインクルーシブな場所にしたいと思っていて、山形県の例を挙げてもらったのはコパルとかだと思うんですけど、コパルもまさにインクルーシブで、いろいろな子供たちが遊べるようになっているんですよね。別々の場所にいたら交流がないので、同じ場所で過ごせるようにというのは思っています。 私も幼少期には印旛特別支援学校が近くにあり、年に1回くらい交流があったんです。それが結構、今の私の人格形成に影響しているなと思っているところがあって、そういう機会はなるべく作っていけるようにやっていきたいと思っています。	—	子育て支援課
23	公共施設について	牧の原地区にも図書館がほしいです。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	生涯学習課
24	公共施設について	高齢者と関われる施設がほしい。 総合福祉センターのように、児童館があったり入浴施設がある施設はとても良いと思います。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	企画政策課
25	公共施設について	コスモスパレットの立体駐車場の利用料を最初の3・4時間は無料にしてくれると、利用しやすいと思います。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	生涯学習課
26	公共施設について	牧の原地域交流センターが、館内の制度が厳しくて全然使えてない、飲食もできないらしいです。 せっかく建物があるのに学童、図書館、児童館もありません。	—	牧の原地域交流センターについては、会議室・多目的室内での飲食を主目的とする利用はできませんが、お茶などの水分補給は可能です。 食事については、交流の広場を利用いただけるようお願いしているところです。 様々な世代の人たちの交流機会の創出、及び地域福祉活動の拠点として設置されていますので、皆様の交流の場としてご活用ください。 多目的室2は、令和7年4月から学童保育として活用しています。今後とも、公共施設整備基本方針に基づいた施設利用の利便性の向上に努めていきます。	社会福祉課
27	いんザイ君グッズについて	北総線といんザイ君のコラボぬいぐるみを再販してほしいです。	ありがとうございます。ぜひ交通政策課に問い合わせてください。在庫があれば売っていただけるはずです。	—	交通政策課
28	いんザイ君グッズについて	いんザイ君の大きいぬいぐるみが欲しいです。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	経済振興課

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
29	市内の公園について	牧の原公園は2つに分かれています、どちらにも遊具がありません。竜ヶ崎市のたつのこ山公園みたいな公園がほしいです。 印西市の公園は、広いことは確かにありがたいんですけど、アスレチックのようなものが欲しいです。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	都市整備課
30	市内の公園について	木下交流の杜公園の遊具が小さすぎます。	ご意見として参考とさせていただきます。	—	都市整備課
31	イベントについて	印西市の広い公園でイベントが開催できればいいなと思っています。モアとイオンではマルシェをやっていますが、客数に対して店舗数が少なくて1時間で全部品切れてしまうことが多いです。もっと店舗数を増やして、大人数が来ても大丈夫、傍らで遊べる、みたいなイベントをやってほしい。	イベントは確かに規模が小さい傾向です。今後の参考にさせていただきます。	—	経済振興課
32	ベンチの設置について	高齢の祖母が「ベンチを設置してほしい」という内容で、以前、前市長へ手紙を出したことがあるようなのですが、難しいという回答だったようです。牧の原から印西総合病院へ行く途中でも心配で一度休みたいくらいだと。しっかりとしたベンチでなくていいんです。ただの石でできたベンチにもなるみたいなやつあるじゃないですか。そういうものがあると助かると皆さん言っています。そういう休める場所があってほしいです。	持ち帰って確認します。市内は車移動で歩かない人も多いので、どこに置くのが良いのかも含めて確認します。ぜひお手紙はもう一度出してほしいです。	歩道等にベンチを設置する場合、歩道等利用者の通行を妨げないことなど、全ての利用者が安全かつ快適に利用できるようにすることが必要があることを考慮し、検討してまいります。	土木管理課
33	街灯について	ジョイフル本田の裏側の道路に街灯がなくて、子どもがひかれそうになっている状況があります。信号をつけることはできないでしょうか。また、街灯を付けてもらえないでしょうか。夜はハイビームで照らしても人がいるのか見えない時があります。	—	信号機の設置につきましては警察の所管となりますことから、印西警察署へ報告します。 道路照明については、交差点部や横断歩道が設置されている箇所、カーブなどの見通しの悪い箇所などに設置しており、ジョイフル本田の裏側の道路についても、交差点部に道路照明を設置しています。しかしながら、照明器具の経年劣化が生じている状況もあることから、順次LED化を進めていきます。	市民活動推進課 土木管理課
34	ゴミ出しについて	年末のゴミ出しについて、今までは予定表を集積所に貼っていただいていたのですが、昨年末は張っていただいていたので、ゴミ出ししている人がいました。	持ち帰って確認します。	集積予定に関しまして、市では貼っておりませんので、おそらく町内会や自治会等の方が自主的に貼られていたのではないかと思います。	クリーン推進課